

コウヤボウキ

コウヤボウキ(高野山簪)の花がよく咲いています。

高野山では、かつて、この枝を束ねて簪として使っていました。平安時代には新年に皇后さまが蚕室をめぐう儀式で、コウヤボウキを束ねて宝飾した玉簪が使われていたということです。



東山植物園 11 月 11 日

正倉院御物として今も一対2口の玉簪が残されています。コウヤボウキが素材として使われています。全長65cm、幅3.5cmのサイズです。

宮内庁ホームページより→

